



| | |
|----------------|-------------------------|
| 【審査証明番号／有効期限】 | BCJ-審査証明-18／2027年3月26日 |
| 【技術の名称】 | 既製コンクリート杭の杭頭接合技術「FPA工法」 |
| 【依頼者(審査証明取得者)】 | 株式会社 フジタ、日本コンクリート工業株式会社 |

【技術概要】

本工法は、既製コンクリート杭の杭頭座板ねじ孔に、一部ねじ加工した異形鉄筋(以下「FPA ボルト」)を機械的に接合することにより、杭とフーチングとの接合を行う技術である。

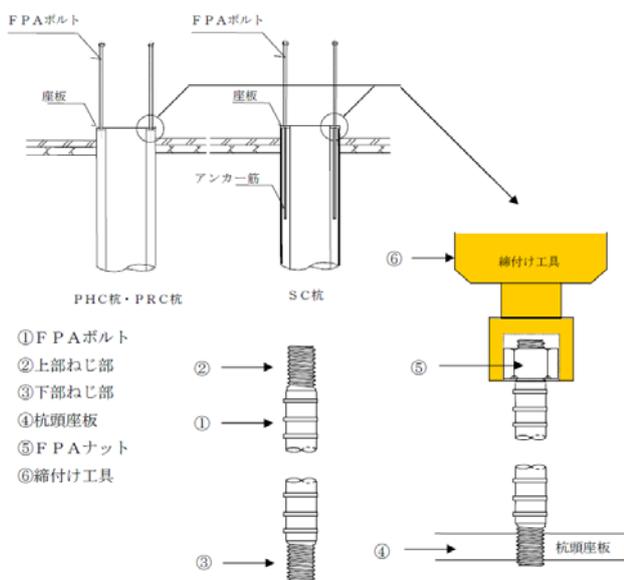


図1 FPA工法の構成

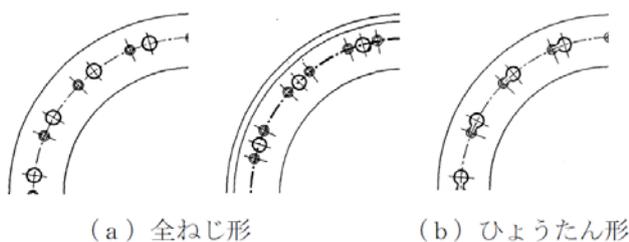


図2 ねじ穴形状タイプ



【開発の趣旨】

従来から採用されている杭頭接合工法では、多くの施工工程が必要とされ、同時に杭頭中空部のソイルセメントを除去・処分しなければならなかった。

FPA工法では、既製コンクリート杭の杭頭座板ねじ孔に一部ねじ加工した異形鉄筋(以下「FPAボルト」)を用いることで、杭頭接合工事における工期短縮と工程の簡略化を図るとともに、建設廃棄物の削減に資することを目的とし、設計上必要な性能を確保する確実な施工方法の開発を行う。

【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) FPAボルトを機械的に接合し、かつ、接合部を目視確認できるため容易に管理できると判断される。
- (2) 特殊な材料や特殊な技能を必要とせず、一職種により容易に取付け作業ができ、また、火気使用がなく天候に左右されず、さらに、杭頭中空部のソイルセメント除去量が少なく工期短縮を図ることができると判断される。
- (3) 設計の要求に応じた杭頭接合部を施工できると判断される。
- (4) 建設発生土であるソイルセメント除去量を、従来の中詰め工法に比べ大幅に削減できると判断される。

【本技術の問合わせ先】

・株式会社 フジタ 建築本部
建築統括部 建築技術部

TEL:03-3796-3209 FAX:03-3796-3215

技術紹介サイト

http://www.fujita.co.jp/solution-and-technology/detail/post_6.html

・日本コンクリート工業株式会社
東日本基礎事業 技術サービス部
技術サービスグループ

TEL:03-3452-1089 FAX:03-3452-1125

技術紹介サイト

<http://www.ncic.co.jp/foundation/fpa.html>